

令和8年熊本地震 くらし再建・復興に向けた意見交換会(中央区)

日時	令和8年9月5日(土) 14時30分 ～ 16時30分
場所	熊本市現代美術館 5階アートロフト
参加者	22名

番号	意見 交換会	ご意見	当日の回答内容
1	中央区	冷房のある教室を避難所としたことはよかった。しかし、体育館と思い避難をためらう人が多かった。空調が整備された避難所であることをもっと早いタイミングで周知してほしかった。	避難所環境に関する情報を、市民の皆様に速やかに周知できるよう検討する。
2	中央区	【城東校区】 避難所運営委員会等、他の地域の方々はどうのように避難所運営に関わったのか、今後の改善点なども含めて知りたい。 【一新校区】 会長が毎日避難所の様子を見に行った。 【白山校区】 地域、学校、市職員の三者間で、一日2回ミーティングを実施した。 【大江校区社会福祉協議会】 避難所に避難した方に聞き取りを実施し、自宅のガラス片を清掃するなど生活再建に向けた支援を行った。	避難所運営については整理してもっと良くなってほしい。皆さんからも情報を提供いただきたい。
3	中央区	今回夕方地震があったが、授業中の場合どうするのか。 生徒がいた場合、どうするのか。 様々な想定をしてほしい。	今後様々なケースを想定し検討する。
4	中央区	今回は体育館ではなく教室を避難所として利用したためか、収容できる人数が少なくなった。 今後は多くの人数が避難してくる場合も想定してほしい。	今後様々なケースを想定し検討する。
5	中央区	発災時に、街なかの避難誘導のアナウンスがなかったと聞いているが、どうだったのか。	アナウンスについて十分だったのか、観光客等への周知は検討課題である。
6	中央区	まちなかの防災は、帰宅困難者用の避難所を整備することのみが進められており、観光客や買い物客をそこへ避難誘導する仕組みが整備されていない。 ・まちなか来訪者が災害時にどこに避難すべきか掲示がない。 ・市役所に問い合わせても帰宅困難者用避難所を案内されなかった。 ・避難誘導のアナウンスがなかった。 サクラマチを整備するだけでなく避難誘導のために改善していく必要がある。 また、市の公式ホームページには避難所の開設状況が掲載されているが、その中にサクラマチ(帰宅困難者避難用)が掲載されていなかった。	帰宅困難者については、駅前の事業者やホテルなどと連携協定を結んでいるがこれがどのくらい機能したのか検証が必要。 アナウンスについて十分だったのか、観光客等への周知は検討課題である。
7	中央区	防災基本条例について、事業者への周知はどうのようにされてきたのか。事業者の半数が事業所に留まる選択をしていれば渋滞を緩和することができた。 また、防災基本条例に対する市職員全体の意識も薄い。	今回の発災時の渋滞に際して活躍したのがシェアサイクル「チャリチャリ」だった。災害時に即時活用できる仕組みも検討したい。

番号	意見 交換会	ご意見	当日の回答内容
8	中央区	今回、アーケード内の看板の落下等もあったが、大型看板・違法看板の規制、撤去を景観面だけで考えるのではなく、「防災」の視点から市全体で考えてほしい。	屋外広告物については、景観形成だけでなく、防災及び安全確保の観点からも適切な設置・管理が重要であると認識しており、新規許可申請時及び更新許可申請時において、安全点検結果の確認を実施している。 これに加え、未申請広告物の申請誘導や、関係機関と連携し、アーケード内の突出した広告物の適正な許可申請及び維持管理に向けた指導体制の構築に取り組んでいるところである。 また、今回の地震による中心市街地(アーケード周辺)の屋外広告物の被災状況調査を実施し、緊急性のある事案は指導したところである。今後も、関係機関と連携し、屋外広告物の適正な許可申請及び維持管理の誘導・指導を実施していく。
9	中央区	【一新校区】 段ボールベッドが来るのが3日目か4日目で遅かった。 【春竹校区】 校区自治協議会防災連絡会で20台購入していたので対応できた。余剰もあったので避難者の多い校区へ融通するやり方もあるのではないかな。 【白山校区】 20台いただいた。避難者が少なかったため不足はなかった。	すぐに準備できた箇所と時間がかかった箇所とがあるので検証したい。
10	中央区	12日間ほど避難所が開設されていて、避難後8日くらいで避難者が3人くらいになったが、閉鎖の決定が遅かった。閉鎖のタイミングもしっかり考えてほしい。	開設、閉鎖のタイミングは大きな課題であると思っている。
11	中央区	ベッドから起きにくいなどの声があった。 ベッドの使いまわしが衛生的にはよくないようだが、使いまわした方が効率がいいのではないかな。	ベッドに関して高さが怖い、非常に助かったなど様々な意見をいただいた。ご意見を伺いながら良い形にしていきたい。余剰のある避難所から不足のある避難所へ融通してはどうかとのご意見をいただいたが、災害の状況によって避難所ごとの偏りをどう調整するかが課題である。
12	中央区	マンホールトイレはとても重要。トイレは市で準備してもらえるが、水源からのホースやポンプは地域で準備することになっているので改善してほしい。	マンホールトイレについては、各地に設置しようと進めてきた。ホースやポンプは地域が負担することについてご意見をいただいたので対応できるよう考えたい。
13	中央区	避難所の教室のエアコンがガスタイプのため地震直後には使えなかった。災害時に弱点である(白山小学校)。	非常用電源等もあり動かせるはずなので、原因を確認してみる。
14	中央区	避難所担当職員の配置は大変助かった。しかし、72時間後から毎日2交代で職員が代わり交代の際の申し送りができていないことがあったので、情報の共有ができるよう、72時間経過後も専属の担当を日中もしくは朝だけでもつけてほしい。	10年前の地震を受け作ったものであり、まだ課題があると感じているのでアップデートを行う。
15	中央区	元校長から子どもの様子を聞いた。こどもの心のケアをしっかりしてほしい。	子どもの心のケアは非常に重要で徹底するよう指示している。学校では、スクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)を配置し、フォロー体制を整える。 夏休み期間中でもあり、こどもの居場所の確保が課題。保護者もこどもがいるので被災手続きができないなど課題もあるので対応を考える。
16	中央区	熊本市では10年前の教訓から対策をとっているが、私がボランティアに入った県南ではトイレの問題は非常に大きいと感じた。	トイレに関しては、マンホールトイレを設置するなどこれまで整備を頑張ってきた方だと思う。トイレカーを購入するなどさらに充実させたい。 学校や体育館のトイレ洋式化をさらに進め、クーラーも含め速やかに設備改修を行う予定。
17	中央区	ボランティアと被災者をつなぐためのボランティアも重要である。	目の前の被災者を助けたいというボランティアは多い。ボランティアをつなげる仕組みをさらに充実させたい。

番号	意見 交換会	ご意見	当日の回答内容
18	中央区	私は被災の大きい県南地域へ炊き出しボランティアに入った。その際に感じたことだが、当該地域の避難所担当者は避難所運営の在り方を理解していないようだった。ボランティアからの提案に対し回答をもらえなかったこともある。大西市長が「目の前にいる困っている人を助けてほしい」と10年前に話をされていたが、県南地域の職員も同じ気持ちで対応していただけたら良かったと思う。	県都として、県南被災地への支援にも積極的に取り組む。
19	中央区	駅で被災された方が向山、春日、古町校区へ避難して来た。自主避難者は本来であれば各自で食料を調達する必要があるが、実際には困難な状況であったため、地域が対応した。自主避難のあり方を再考し柔軟な対応を考えてほしい。	帰宅困難者については、駅前の事業者やホテルなどと連携協定を結んでいるがこれがどのくらい機能したのか検証が必要。 アナウンスについて十分だったのか、観光客への周知は検討課題である。
20	中央区	街なか来訪者の避難誘導について、検討していた矢先に発災した。現状、我々まちなか事業者では建物から外への避難誘導が精一杯。その後はどうすればよいのか誘導が難しいのであらかじめ何らかの避難誘導の表示(看板のようなもの)があるとよい。録音音声を流し放送する方法なら対応可能と思う。	街なかの避難誘導をもっと進めたい。事業者の協力が不可欠。 表示も必要で、街なかのビジョンを活用できればと思う。放送なども検討したい。
21	中央区	10年前と比べ県南に事業者やボランティアが集中しており、中心商店街は寂しい状況。「阿蘇ふっこう割」や「食のみやこ熊本券」は飲食店やホテルに利用が限定されているため、全業種に対応できるプレミアム商品券などをお願いしたい。	今後、国による宿泊支援も見込まれており、市としても事業者や被災者の皆さんが利用しやすい支援策を検討していく。
22	中央区	飲食店もキャンセルが多発しており、活性化してほしい。公務員の飲食自粛の要請はしないようにしてほしい。	職員に自粛は求めているが、今後、安心して街に出られるようアナウンスしていきたい。
23	中央区	なぜ、コミセンを第一避難所で開設できないのか。	【危機管理】 コミセンは、応援の協定を結んでいて、災害の規模に応じて段階的にあけている。学校が強靱な建物であるため、まずは学校を避難所としている。 【市長】 例えば、地域の方でコミセンの避難所運営をしていただくなど、そういったお願いができるかも含め柔軟な対応を検討したい。
24	中央区	熊本市はマンションの被害が少なかった。八代のマンションは被害がひどく、中でも特にお困りなのがトイレが使えないということであり、そのために避難所に避難していると聞いた。八代では井戸水を引いている戸建て住宅ではトイレが使えたようだ。熊本市では井戸水で使えるトイレはどれくらいあるのか。上水道が使えない場合に備えて井戸水を利用したトイレ対策を考えてはどうだろうか。	トイレが使用できれば避難所に避難せず自宅で過ごすことができる方も多いだろう。井戸水使用のトイレは一つの選択肢として可能性を検討してみたい。
25	中央区	10年前はマンションの被害が大きかったので、熊本市にマンション支援の班を作ってもらったが、今はない。マンションの冠をつけた課を作してほしい。	冠をつけた課の設置はともかく、今回も今後もマンション支援に対応していく。
26	中央区	マンションは区分所有法、管理規約の関係もあり、管理組合として組織ぐるみで被災に対処する必要がある。10年前はその点で大変苦労したが、その経験から今回の熊本市のマンション対応は非常に早くスムーズで良かった。しかし、他の被災自治体は熊本市のようにうまくいっていない。他市町村の担当者へ熊本市にやり方を相談してはどうかと助言したところ県に相談するとの回答だった。連携されてはいかがか。	10年前の経験から、マンション管理は合意形成に時間がかかるなど非常に難しい課題があると認識している。県南自治体にはアドバイスや支援をやってきたい。

番号	意見 交換会	ご意見	当日の回答内容
27	中央区	マンションにおける災害直後の安否確認の仕組みを構築する必要がある。マンション管理組合の理事長が居住者の避難先を把握する手段がない。	安否確認については、マンション管理組合理事長に連絡できる仕組みがあればよいのではないかと思った。車中泊避難のシステムを検討中であり、このシステムを参考にマンション組合向けのシステムを検討できないか考えたい。
28	中央区	今回の地震では応急危険度判定の調査がされていないようだ。あるマンションではタイルが割れてぶら下がっている状態だったが危険性を指摘する仕組みがないため放置されていた。応急危険度判定があればマンション管理担当者も気づきやすかったのではないかと思う。	応急危険度判定については被災がひどかった地域では行っているが、1か月ほど経ってからの実施はしていないと思う。確認させてほしい。
29	中央区	災害弱者は、障がい手帳を持っている方、介護認定を受けている方、高齢者の方だけとは限らない。個々の困難事情に則した対応が必要である。ボランティアセンターに依頼してよいのかためらう小さな支援のニーズが多いため、地域ごとに民間のボランティアセンターを作るなどの支援の仕組み作りが必要ではないかと考える。	地域ごとにやっていければもっときめ細かな対応ができると思う。各区の社協や、民間のボランティア団体等との連携が重要。
30	中央区	(10年前)民生委員として訪問するなかで、みなし仮設に入居した高齢者を発見することがあった。現状は民生委員が発見し必要な支援を聴き取り提供する仕組みだが、みなし仮設に入った方々の情報入手が難しい。	みなし仮設の方の見守り等、人により困りごととは違うので、画一的な役所の対応では難しい。被災者カルテを作る予定。被災者・行政・地域の関係を作り、やっていければと思う。
31	中央区	学校では学習用の電子黒板の導入が進み、テレビが見れなくなっている。情報取得の手段として、避難所にはテレビを配置してほしい。	10年前はテレビ・新聞は配布するよう民間事業者にお願いした。今回、テレビがなかった避難所がないかを確認し、どうしたらよいかを考える。熊本市防災YouTubeチャンネルを開設すること等も考える。
32	中央区	熊本アプリやマイナンバーを利用した避難所に入る手続きの簡略化はどれくらいできたか。	熊本アプリをもっと普及させるとともに、活用アイデアもいただいて、考えていきたい。
33	中央区	校区の避難行動の要支援者名簿を避難所担当職員に共有できないか。	個人情報なので、法的観点など含め確認する。
34	中央区	避難所には医療・福祉・保健師の巡回があり、医療福祉は早期から入っていた。避難所は日が経てば経つほど社会福祉の役割が大きくなっているように感じる。避難所の閉鎖を考えると、早い段階からもっと支援が必要ではないか。	みんなで早い段階から見守ってフォローできる体制に繋がればと思う。
35	中央区	10月25日の訓練について、まだ校区に連絡が来ていない。どうするのか。	【危機管理防災部】 速やかに確認し、連絡する。 【市長】 来週のなるべく早く連絡する。今のうちに訓練をしたほうが良いとは思っている。
36	中央区	氷川町では倉庫が被災して段ボールベッドが出せなかった。そのようなことがないよう、野球場の誘致予定の場所に備蓄センターを作ってはどうか。	備蓄の方法をしっかりと考えたい。防災力の強化も考えないといけないので、いろんなご提案をいただきながら考えたい。